

平成 27 年度
港区運営方針

自己評価 概要版

平成 28 年 6 月
大阪市港区役所

も く じ

はじめに	・・・ 1
経営課題1 区民主体のまちづくり	・・・ 3
1 豊かなコミュニティづくりの促進	・・・ 4
2 区民主体のまちづくりの推進	・・・ 7
3 多様な協働の推進とコミュニティ・ビジネスの促進	・・・ 9
経営課題2 安全・安心・快適なまちづくり	・・・ 11
1 防災対策の強化	・・・ 12
2 防犯対策の強化	・・・ 16
3 歩行や移動の安全性の確保	・・・ 18
経営課題3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	・・・ 20
1 地域福祉の推進	・・・ 21
2 区民の健康増進と生活環境の改善	・・・ 24
3 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進	・・・ 27
経営課題4 子育て世代が魅力を感じるまちづくり	・・・ 28
1 子育てしやすい環境の整備	・・・ 29
2 子育て世代の居住促進	・・・ 30
3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成	・・・ 30
経営課題5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり	・・・ 36
1 地域経済の活性化	・・・ 37
2 築港地区のにぎわいづくり	・・・ 38
3 まちづくりに向けた資源・資産の活用	・・・ 40
経営課題6 自律した自治体型の区政運営	・・・ 42
1 区長のマネジメントによる港区の特性に応じた区政の推進	・・・ 42
2 親切で信頼される区役所づくり	・・・ 46

＜はじめに＞

港区は、住民どうしのつながりが強く、地域活動が活発であるとともに、比較的狭い区域にありながら、鉄道や高速道路、国道など交通の利便性が高く、大規模な集客文化施設をはじめ歴史・文化・観光資源など、都市としての魅力的なランドマークが数多く存在し、都心の中でベイエリアを有する個性豊かな魅力的なまちです。少子高齢化の進展など地域社会をとりまく環境は大きく変化していますが、歴史が育んだ、港区民のDNAともいえるつながりの強さや、築港・天保山エリアが持つ歴史・文化的な魅力など、今後のまちづくりにあたっては港区の「強み」を活かすとともに、三方を海と川に囲まれ、高潮や津波に弱いといった地理的な「弱み」を克服するため、「区民主体のまちづくり」、「安全・安心・快適なまちづくり」、「健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」、「子育て世代が魅力を感じるまちづくり」、「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」の5つの柱で重点的に施策・事業を推進します。

区政会議をはじめ区民の皆さんから広くご意見をいただきながら、港区にふさわしい区民主体のまちづくりに取り組み、区民の皆さんとともに「いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区」をめざします。

＜港区の目標＞

いちばん住みたいまち、住んで誇りに思えるまち 港区の実現

＜区役所の使命＞

豊かなコミュニティの形成や多様な協働による活力ある地域社会の実現に向けて、区長が自らの権限と責任のもと、区内の実情や特性に即して施策・事業を総合的に展開します。

区民の日常生活の安全・安心を担う総合拠点として、区民が利用しやすい親切で信頼される区役所づくりを進めます。

<平成27年度 区政運営の基本方針（どのように取り組むのか：区長の方針）>

港区の地域のコミュニティを更に活性化し、魅力ある資源を活用するなど活力あるまちづくりをめざします。

区独自に策定した、防災・防犯・福祉の各分野の基本計画（横系）のもと、地域主体で全地域において行動計画（縦系）を策定し、港区に横系と縦系が交わる安全ネットの第1層目が形成できました。今後、地域と連携、協働してより強い安全ネットをめざすとともに、住民の安全・安心の確保に向けて、行政の役割を果たすために必要な事業を推進します。

また、港区の魅力を伝える「みなトクモン」の拡充や、築港・天保山エリアの魅力の向上と活性化に取り組むなど、魅力ある資源を活かして活気あるまちづくりを推進します。

更に戦後70周年にあたり、区民の皆さんとまちづくりの歩みを振り返りながら「弁天町駅前土地地区画整理記念事業」について、今後の港区のまちづくりに貢献する事業内容等を取りまとめます。

教育の分野では、学校教育の支援や福祉的課題を有する児童・生徒の支援など、各学校園との連携を強化し、港区の教育環境の向上と教育課題への対応に取り組めます。更に、英語交流体験によるグローバル人材の育成など、教育事業を積極的に実施し、子どもの学ぶ力、生きる力を育みます。

区政運営については、企画段階から区民の皆さんの意見を把握し、成果について評価を受けることにより、施策事業の改善や新たな展開につなげていきます。また、区民志向、チャレンジ精神を持つ職員の育成に努め、区役所サービスの一層の向上に取り組めます。

経営課題 1 区民主体のまちづくり

高齢化が進んでおり、特に区内中部の市営住宅の多い地域ではその傾向が顕著で、独居の高齢者も多く住んでおられます。その一方、区内東部では大規模マンションの建設等が進み、子育て世代が増加していますが、人と人とのつながりや地域コミュニティの希薄化が懸念されています。

こうした状況の中、地域活動の担い手が高齢化するとともに、一部の担い手に役割が集中し、負担感が大きく、後継者不足につながっています。

これまで培われてきた、人と人とのつながりや絆（きずな）を礎（いしづえ）にしながら、より幅広い住民が参加し、身近な地域の中で生活課題等の解決に協力して取り組む豊かなコミュニティづくりが求められています。

地域課題を共有しながら活動が可能な範囲である小学校区を単位として、各種地域団体や企業、NPOなど多様な活動主体が地域活動協議会を形成し、地域の将来像を共有しながら、さまざまな地域課題に取り組む自律的、持続的な地域運営を支援し、区民主体のまちづくりを引続き推進していく必要があります。

また、自律的、持続的な地域運営を促進するためにも、地域活動へのビジネス手法の導入を進め、地域の就業機会創出や地域経済の活性化を図ることが重要です。



地域活動協議会に対する補助事業・新たな地域コミュニティ支援事業 他
地域団体や企業・NPO など、様々な団体が話し合い、地域の活性化に向けて、地域活動や課題解決に取り組むことができるよう支援し、豊かなコミュニティづくりを進める。

1 豊かなコミュニティづくりの促進

地域におけるつながりや絆の大切さを啓発して、人と人が出会いつながる機会を提供します。

これまで地域活動に関心の薄かった方々をはじめとする、より多くの人たちに対して、地域団体の活動への理解を深めていただき、地域活動への参画を促します。このことによって地域への関心を高め愛着を育むとともに、会計の透明性の確保等、民主的で開かれた組織運営や促進します。

企業等に対しても地域活動の重要性を啓発して、地域活動に参画・連携するための機会や場の提供、マッチングなどを行います。

1) 地域の活動に対する広報の支援 【予算額 一 千円】

まちづくりセンターを活用し、地域活動協議会が地域住民に対してその活動や組織運営、地域におけるつながりやきずなの大切さ等を積極的に啓発・広報することなどを支援します。

このことによって、地域のより多くの人たちに地域活動への理解の促進と活動への参画ならびに地域への愛着を育む機会を提供します。

目 標 組織運営や会計、活動情報、つながりやきずなの大切さの啓発・広報が、地域活動への理解の促進と活動への参画ならびに地域への愛着を育むことに役立ったと感じている地域の数：11 地域

結 果 11 地域

自己評価 目標達成

取組実績

- ・ 広報紙の発行地域数：11地域 ・ ホームページの開設地域数：5 地域
- ・ フェイスブックの開設地域数：7 地域 ・ ブログの開設地域数：1 地域
- ・ 広報研修会の開催：1 回
- ・ 各地域団体に交付した補助金の事業計画や決算、活動内容について区ホームページで公表。

2) コミュニティ育成事業 【予算額：11,142千円】

コミュニティの育成や活性化を図るため、港区で活動するさまざまな団体やグループ、区民の企画段階からの参画を促し、各種イベントや講座を企画・開催するとともに、開催結果を情報発信していきます。

目標 文化、スポーツ、子育てやコミュニティ促進等のイベントや講座等に企画段階から参画した団体やグループ、個人の数：延べ30団体・人

結果 延べ72団体・人

自己評価 目標達成

取組実績

- ・区民がイベントを企画するワーキング部会を4部会組織。
 - コミュニティ促進事業部会：29団体・個人
 - スポーツ推進事業部会：13団体・個人
 - 文化振興事業部会：15団体 子どもの健全育成事業部会：15団体・個人
- ・区民が企画し実施するイベント
 - 9/6：ふれあい音楽会 9/20：みなとわんぱくまつり 10/11：港区民まつり
 - 11/1～11/3：文化のつどい 2/28：こどもパラダイス ほか

3) 校庭等の芝生化事業 【予算額：3,608千円】

校庭等を芝生化することにより、子どもが緑のもとで遊べる環境をつくとともに、その活動を通じて、地域の豊かなコミュニケーションづくりを促進します。また、ヒートアイランド対策の一助とします。

目標 新規施工1箇所に対して芝生化を行う。

結果 1箇所（磯路小学校）について芝生化施工完了

自己評価 目標達成

取組実績

- ・実行委員会への説明会：4回

4) 戦後 70 年記念 大阪港周辺戦争体験・復興記録事業

【予算額：5,050千円】〈新規〉

戦争体験者（20 名程度）から聞き取りを行うとともに、大阪大空襲等による大阪港周辺の戦争被害から区民が一丸となって取り組んだ港区の復興に関する資料を収集・記録・編集し、ホームページ等により公表します。また、小・中学生を中心とする、子どもとともに復興の歴史を学び、戦争の悲惨さ等について後世に語り継いでいきます。

目 標 区民モニターアンケートにおける港区を中心とした大阪港周辺の戦争被害や戦後復興についての認知度を、平成 27 年度中に 50%以上にする。

結 果 平成 27 年度区民モニターアンケートは未実施。

自己評価 目標未達成（未測定）

改善策 平成 27 年 3 月に DVD ビデオの上映を伴う「まちづくりフォーラム」を開催し、平成 28 年度に区内中学校に記念誌を配付し活用を図ることで戦争被害や戦後復興についての認知度を高める。

取組実績

- ・ 港区の戦前の繁栄や戦中被害、自然災害や戦後復興の記録をとりまとめた DVD、冊子を作成し、港区まちづくりフォーラムで DVD の上映、冊子を配布し、参加者アンケートを実施した。

2 区民主体のまちづくりの推進

各小学校区で、地域住民による自律的、持続的な地域運営を実現するため、地域団体や企業、NPOなどの活動主体が幅広く参画して、地域特性に応じた課題の解決に協働して取り組んでいく「地域活動協議会」の活動や法人格の取得など社会的信用を高めるための取組みを、まちづくりセンター（地域活動協議会の運営等を支援する中間支援組織）を活用して支援します。

地域活動協議会のもとで実施される地域活動に対する補助金については、活動内容を限定せず、地域活動協議会の話し合いによって主体的に活用できる仕組みを継続して実施します。

1) 地域活動協議会に対する補助事業 【予算額 29,130千円】

地域コミュニティの活性化や防災、防犯対策の強化、子ども・青少年の育成、健康・福祉の向上など、地域課題への対応・解決に向けて、地域活動協議会が自律的、継続的に活動ができるよう財政的支援を行います。

目標 本補助制度を地域の実情に即して有効に活用できたと感じている地域活動協議会の数：11地域

結果 11地域

自己評価 目標達成

取組実績

- ・全11地域に補助金を交付：（5月）
- ・補助金に係る説明会を開催：（8月・1月）
- ・地域個別会計学習会を開催：4地域

2) 新たな地域コミュニティ支援事業 【予算額 15,939千円】

まちづくりセンターの助言や指導、コーディネート等を通じて、幅広い住民参画の促進や新たな担い手の育成と拡大、団体間の連携・協働を図ることで、地域活動協議会の活動内容を充実させるとともに、会計の透明性の確保等、開かれた組織運営や法人化に向けた取組みを促します。

目標 自律的な地域運営に取り組んでいると感じている地域数：11地域

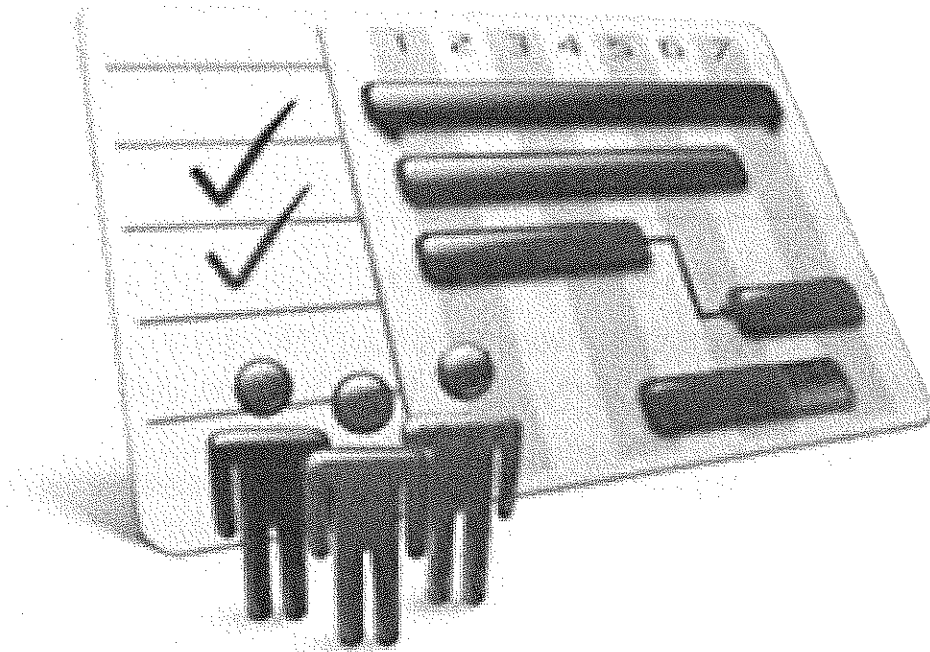
結果 11地域

自己評価 目標達成

取組実績

運営支援

- ・広報に係る支援：全11地域。・会計処理に係る支援：全11地域。
- ・助成金申請に係る支援：2地域。



3 多様な協働の推進とコミュニティ・ビジネスの促進

地域団体や企業、NPOなどさまざまな活動主体が交流する機会や場を提供するなど、多様な協働・連携を促進します。

地域活動の担い手に研修や実際の活動を通じてノウハウを学ぶ機会を提供することで、地域づくりやまちづくりのためのコーディネートを行うことができる人材を育成するなど、多様で厚みのある地域コミュニティの形成を促進します。

自律的、持続的な地域運営のため、まちづくりセンター（地域活動協議会の取組みや運営等を支援する中間支援組織）を活用してコミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスを促進するとともに、本市事務事業の社会的ビジネス化を図り、地域における就業機会の創出や人、モノ、カネ、情報などの資源の循環による地域経済の活性化をめざします。

1) 多様な協働による活力ある地域社会づくり事業 【予算額 653千円】

魅力と活気ある地域社会づくりに向けて、地域団体や企業、NPOなどの多様な地域活動の担い手のすそ野を広げ、マルチパートナーシップによるまちづくりを進めていくために、多様な担い手に対し地域貢献活動や各々の強みを活かした連携・協働を呼びかけ、地域課題の解決についての具体的な取組みを促します。

- 目 標**
- ・「こども110番の家」登録企業を5件増
 - ・「元気な港区づくりサポーター」登録企業を5件増
 - ・港区一斉清掃作業の実施（20団体）
 - ・「港区ワークス探検団」（職場見学・訪問）開催（協力企業8社）

- 結 果**
- ・「こども110番の家」登録企業：10件増
 - ・「元気な港区づくりサポーター」登録企業：2件増
 - ・港区一斉清掃作業の実施：44団体
 - ・「港区ワークス探検団」（職場見学・訪問）開催：（協力企業9社）

自己評価 目標達成

取組実績

区内企業等を訪問し、当区が実施する地域貢献活動への参画を依頼するとともに、自ら地域貢献活動に取り組む企業へ「元気な港区づくりサポーター」への登録を呼びかけた。

2) 地域活動のコミュニティビジネス化等の支援 【予算額 一 千円】

まちづくりセンターなどを活用し、地域活動の担い手に対してコミュニティビジネスの意義やメリットを紹介し理解を深めます。また、事例や手法などの情報提供、専門相談機関等への連絡・調整を支援します。

目 標 地域が取り組むコミュニティビジネスの件数：8 件

結 果 8 件

自己評価 目標達成

取組実績

- ・まちづくりセンターと連携し、コミュニティビジネス等にかかる情報交換会を開催：2 回（12 月 7 日、2 月 8 日）
- ・情報提供した事例の数：4 件

3) 広報紙配布事業の社会的ビジネス化 【予算額 一 千円】

すでに区内の複数の地域で取り組まれている事例の成果やメリット等を、まだ取組まれていない地域に紹介し、取り組みを促進します。

目 標 広報紙配布事業を活用した社会的ビジネス化を区内全 11 地域に広げる。

結 果 区内 10 地域において、7 つの地域活動協議会が広報紙配布事業に取り組んだ（うち新たに取組んだ地域：1 地域）

自己評価 目標未達成

改善策 地域の自律的運営には社会的ビジネスの実施が有用であることを丁寧に説明するとともに、「広報紙配布事業」以外の地域実情にあった社会的ビジネスの促進を図る。

取組実績

まだ取組まれていない地域に対して、取り組みの有用性を説明した。